

みやざき市議会 だより

年4回発行

発行/宮崎市議会 編集/広報広聴委員会

12月

3月

9月

6月

定例会は年4回

今回は12月に開催しました



人と動物が共生するまち、
宮崎市。

目次

- ・市政のここが聞きたい！ 一般質問 2
- ・常任委員会の活動報告 8
- ・提出議案の議決結果一覧 9
- ・動物との共生に関する条例 10
- ・市議会からのお知らせ／編集後記 12



開かれた市議会へ！

QRコードをスマートフォンで読み取って活用してください。



宮崎市議会
ホームページ



宮崎市議会
議会中継
ホームページ



宮崎市議会
Facebook
ページ

一般質問



登壇順(質問順)に掲載しています。内容は要約であり、公式記録ではありません。
一般質問の映像を公開していますので、
詳しい内容は右のQRコードをスマートフォンで読み取ってご確認ください。

宮崎市議会
議会中継
Webサイト



一般質問は、
市政全般の問題について
市の方針を問うものです。



市政の
ここが聞きたい!

一般質問



令和3年第8回(12月)定例会では、
12月6日～9日までの4日間にわたり、
20人の議員が質問に立ちました。
そのなかから主なものを、
登壇順にご紹介します。

令和3年第8回(12月)宮崎市議会定例会 一般質問一覧

表内左より、登壇順・質問者(会派)・質問内容を掲載しています

12月6日(月)		12月7日(火)			
1	今田 裕信 (同志会)	コロナ禍における諸対策、危機管理、公共施設の整備、教育、都市計画、市長の政治姿勢等について	6	中川 義行 (社民党)	新庁舎建設、コロナ禍の学校生活、情報通信教育、会計年度任用職員の処遇改善について
2	日高 あきひこ (市政同志会)	さんさんクラブ宮崎市、内海地区への災害対応、水産振興施策について	7	黒川 正信 (民友会)	市長のリーダーシップ、川原通線について
3	松山 泰之 (政友会)	持続可能な農業政策(農地荒廃、蛸原川)、種子法、警察及び警察OBとの連携、津波対策(下水処理場、緑松地区)について	8	伊地知 義友 (同志会)	脱炭素化、教育現場、職員育成、コロナ対策、公園緑地、庁舎建替え、客引き行為等禁止条例、公共施設経営等について
4	山口 俊樹 (前新会)	文書の取扱い、消防庁舎の検討のあり方、アリーナ構想、諸問題について	9	松山 清子 (はまゆう)	避難所、地域の乗合タクシー、学校トイレの改修、あけぼの広場の有効活用、国民スポーツ大会について
5	松田 浩一 (社民党)	教員免許更新制、投票率アップ、フッ化物について	10	上田 武広 (公明党)	ゼロカーボンシティみやざき、地域気象防災支援、聴覚障がい者への情報伝達、職員の人事異動、感染症対策、道路拡幅等について
12月8日(水)		12月9日(木)			
11	中村 鉄兵 (令政会)	小中学校児童生徒の生活環境、宮崎市営墓地、マチナカの活性化(宮崎駅周辺の将来のまちづくりに対する市長の思い)について	16	黒木 恒一郎 (市政同志会)	ガーデンツーリズム促進事業に対する補助金の交付、市長の政治姿勢(自粛要請時の行動、市民の痛みに寄り添う姿勢)等について
12	富永 千香 (前新会)	生活困窮者自立支援、子供の遊び場インクルーシブ遊具導入について	17	上沖 篤史 (民友会)	不妊治療、障がい者雇用の現状、待ち時間解消の取組、子育て支援対策、自治会のあり方、中央東地区の土地利用について
13	図師 勝幸 (市政同志会)	F-35Bの新田原基地への配備、河川浄化、コロナ対策(感染予防対策、経済対策)について	18	前本 尚登 (前新会)	交流センターと公民館のあり方、人口減少と少子化対策について
14	日高 透 (志誠会)	森林施策、コミュニティ・スクール等、学校給食、所有者不明土地、相続登記義務化、アリーナの将来性について	19	下村 博史 (政友会)	学校教育(学力向上、教育旅行、給食費の公会計)、路上喫煙対策、大塚台緑地、猿対策について
15	太場 祥子 (公明党)	2050年ゼロカーボンシティみやざき、医療的ケア児支援、性的少数者への理解、女性の健康支援、投票所、不登校対策について	20	吉田 正樹 (公明党)	夜間中学の開設、害獣対策、サボカーへの助成、奨学金返還支援について

※12月定例会では、アクリル板設置箇所でのマスク着用は必須としておりません。



1 同志会
今田 裕信



コロナ禍における諸対策

地域版ふるさと納税制度は、今後どのように取り組んで行くのか。

本制度はまちづくり推進委員会と協議し、事業提案を公表することで寄附を募ることを考えています。

危機管理

新田原基地周辺騒音対策に対し今後どのように要望していくのか。

基地周辺協議会による要望を再度行い、第一種区域の騒音対策について、今後はしっかりと検討していく旨の返答をいただいています。

公共施設の整備と利活用

佐土原歴史資料館(鶴松館)周辺の整備は怎么样了のか。

鶴松館の維持管理について業者に委託し、原因調査と改修の計画を実施し、隣接遊休地の管理については、本年度中に草刈りを実施する準備をしています。

都市計画

佐土原町の国土調査の測量精度と、その誤差はどのようになっているのか。

測量精度の区分は精度の高い順から3番目で、位置誤差は45cm以内となっています。



2 市政同志会
日高 あきひこ



「さんさんクラブ宮崎市」活動

さんさんクラブ活動に対しての支援の仕方について伺いたい。

今後さんさんクラブの活動を支援していきます。クラブ数及び会員の減少についての対策や市に提出する書類の簡素化などを図ります。

豪雨災害における内海地区対応

今回の内海地区の災害に対し各部署での対応及びその対策、そして今後の進め方について伺いたい。

市民の命を守る事業や国土強靱化及び安全・安心で災害に強い宮崎市をつくるための各部署の対応策について説明を受けています。

ふるさと納税として寄附金を集めたがその用途は。

今回の災害の復旧に活用します。

水産振興施策

「マルシップ船員(日本籍船に乗船する外国人船員)」のワクチン接種対応は。

本人確認等ができれば、ワクチン接種券を送付することができます。



3 政友会
松山 泰之



持続可能な農業政策

農業者の高齢化により田畑や農道が荒廃しているが除草など機械化が必要では。また、もみすり組合も重要な役割を担っているが支援策はどうか。蛸原川の氾濫対策はどうなっているのか。

相談に応じ、対応していきます。蛸原川については、県や関係機関と協議し検討していきたいと考えています。

種子法廃止で消費者が安全性に懸念を持つのでは。

県により安定的な供給が維持されていますが、安全性のPRも積極的に取り組むたいと思います。

警察および警察OBとの連携

市民とのトラブルが生じた場合の職員への対応や学校でのSNSや違法薬物対策などにおいて警察等との連絡会議を密にできないか。

県警とは連携を深め、職員研修、地域やPTA研修に取り組みます。

大地震・津波対策

下水処理場や中継ポンプ場の被害想定はどうなのか。また緑松地区への避難タワーは建設できないか。

処理場4施設で3mから7.7m浸水する想定です。耐震化も42%で、機能確保を図ります。緑松への避難タワーは、何らかの方策を検討します。



4 前新会
山口 俊樹



文書の取扱い

日付を遡った事務処理について庁内調査の結果、3200件を超える遡及処理が判明したが、今後どのような対応を講じるのか。

今回の調査結果の分析を行い、遡及処理の正当な理由等を確認すると共に、全庁的に調査結果の概要を示すことで、各課にて文書収発事務の重要性を改めて認識する契機にしたいと考えています。併せて、各課の確認体制を強化するなど、遡及処理する文書の件数を可能な限り減らしていくよう努めていきたいと考えています。

女性の健康支援

小中学校のトイレへの生理用品設置について伺いたい。

現状、生理用品は、保健室等で管理しています。各学校の意向に配慮しながら、希望する学校での試行的な実施を含め、トイレへの設置の必要性や実効性を検討していきたいと考えています。

著作権

市が撮影した写真や作成した素材を二次利用する際にルールはあるか。

今後、関係部局と協議しながら、本市が所有する写真等の二次利用の運用方法について研究します。



5 社民党
松田浩一



教員免許更新制

問 教員免許更新制の導入による教員の資質向上の成果をどう捉えているのか。

答 令和3年度に国が実施したアンケート結果によると、大学等の講座の受講により、最新の知識・技能を習得できたという意見が52・6%を占めており教員の資質向上に一定の効果があつたとされています。

問 現職教員を対象にした「免許更新制高度化のための調査研究事業」における調査結果をどのように考えるか。

答 総合的な満足度は「不満」「やや不満」の否定的な回答が58・5%と過半数を占めています。このことは、一定の評価があつた反面、講習のための時間の確保や手続きの煩雑さ、費用面での負担等の不満が多くあつたものと捉えています。これらの結果等をもとに、今回の見直しに至つたものと考えています。

フツ化物

問 2歳児にフツ化物を塗布する事業だが、1回目の実施率57・9%に対し、2回目、3回目の実施率が悪いが、どのように考えるか。

答 2回目、3回目については歯科医のかかりつけ医づくりのきっかけにもなっており、歯科医師会から保険医療で受診しているとの報告もあります。



6 社民党
中川義行



新庁舎建設

問 アリーナ建設計画は断念したのか。民設民営のアリーナ実現を目指しぜひ社社との協議再開を目指します。

答 県と県立体育館敷地利用の協議は、協議していません。

問 市民プラザは新庁舎建設の際に連結できる設計・建設ではないのか。

答 将来の庁舎建て替えも想定し建物同士の連結も可能とされています。

コロナ禍の学校生活

問 学校生活・行事の現状と今後は。毎日検温、給食時の黙食、校庭での遊び時間の指定、入学式や運動会、参観日の入場制限や規模縮減をしています。

会計年度任用職員の処遇改善

問 年休を時間単位で取得できないか。時間単位で取得可能です。

問 休憩時間中に対応した場合、休憩時間を延ばして確保できないか。

答 事前に休憩時間と勤務時間の割り振りを変更します。

問 休日出勤の休日手当は。

答 週休日の振替ができない場合、時間外手当や休日勤務手当を支給します。

問 夏季休暇を正職員と同じ日数にできないか。正職員は5日で会計年度任用職員は国の非常勤職員並みの3日間とします。



7 民友会
黒川正信



市長のリーダーシップ

問 大瀬浄水場用地売却をなぜ入札にしなかったのか。

答 鑑定評価額以上で売却することが適切であるという上下水道局の経営判断につきましては、私も妥当なものであつたと考えています。

問 裁判で違法行為だと判断され、責任の所在を市民に説明する必要があるが、どう考えているのか。

答 本件の住民訴訟では、「随意契約により土地売却取引を行ったことが違法であり時価評価額と比較して低価格で売却したことにより宮崎市は損害を被つたとして、当時の上下水道局長に対して損害賠償を請求せよ」として提訴されたものです。判決では、売買契約において損害が生じたことを認めることはできないとして、原告からの請求は理由がないとして棄却され、本市が勝訴したところです。

問 アリーナ構想の中止を発表した方が良いのではないか。

答 アリーナ構想の推進につきましては、現在も市、ゼビオ社、双方が近況報告や情報を共有するなど、継続的にコミュニケーションを取り合い、変わらぬ信頼関係を維持していることから、引き続き、早期の協議再開を目指していきたいと考えています。



9 はまゆう
松山清子



避難所

問 要配慮者の避難支援は主に民生委員児童委員に委ねられているが、犠牲者を出さないよう配慮をしていただきたい。全戸に配布された洪水ハザードマップはどのように活用されているのか。

答 誰がどのように支援するか個別避難計画を作成し、災害時の備えをしています。マップを積極的に活用し市民の防災意識の向上を図っていきます。

地域の乗合タクシー

問 各地域の現状と利用状況、問題点と今後の展望について伺いたい。

答 高岡、木花、北、田野、佐土原が本格運行。住吉、生目が試験運行。協議会により地域の実情に応じて実施されていますが、コロナ禍により集客がなく、事業内容等の周知が困難となっています。

あけぼの広場の有効活用

問 1万㎡のあけぼの広場は敷地整備もされずイベントにも使い勝手が悪くコロナ禍によりあまり利用されていない。公共施設建設要望の意見書を4年前に提出しているがその後どうなっているか。

答 新たな公共施設の整備は、困難であることは変わりない状況ではありますが、既存の公共施設を有効に活用し、適切な維持管理に努めていきます。



10 公明党
上田武広



地域気象防災支援

問 地域気象防災アドバイザーとは、地域の気象災害情報に詳しく、自治体の防災対策を支援する専門家である。今後予定はどのような状況となっているのか。

答 宮崎地方気象台と情報交換をしながら、活用について検討していきます。

道路拡幅

問 津和田柳籠線の道路拡幅により、車のスピードアップがすでに生じている。速度制限表示・グリーンベルトの設置・カーブミラー等の対策はどのように考えているのか。

答 小中学校の通学路に指定されており、安全対策として、グリーンベルトの設置、見通しの悪い交差点部にカーブミラーを設置します。

マイナンバーカード

問 マイナンバーカードは、デジタル社会基盤構築の推進に必要である。本市のさらなるポイントカード取得率アップのために、本市独自で「マイナポイント」の上乗せはできないか。

答 本市では、健康みやざきマイレージ推進事業、新型コロナウィルス緊急対応赤ちゃん応援事業を行っています。マイナポイント上乗せについては、今後、国の動向を注視していきます。



11 令政会
中村鉄兵



小中学校児童生徒の生活環境

問 子どもたちへコロナ関連に特化したお困り事のアンケート調査はできないか。

答 議員からご提案いただいたように、児童生徒のコロナ禍における困り感を把握するアンケート調査を行い、その解消に役立てていきたいと考えています。

宮崎市営墓地

問 地域住民のニーズに合った墓地の区画を増やす計画はないのか。

答 一定のスペースで多くの方にご利用いただける合葬墓の需要の高さが現れた状況となっており、今後は、京塚2丁目の市営桃山墓地の一角に、合葬墓の新設を計画しています。

マチナカの活性化

問 宮崎駅を核にした将来のまちづくりに対する市長の思いは。

答 市民の皆様は、ずっと住み続けたい、働き続けたいと思っただけのまちづくりを全力で推進していきたいと考えています。

問 高千穂通りの社会実験に関与していただく部署を一本化し、組織体制を強化した方が良いのでは。

答 議員ご提案のとおり現在、新たな部署の新設に向けた検討を進めているところです。



8 同志会
伊地知義友



地域脱炭素化の実現に向けて

問 「ゼロカーボンシティみやざき」を着実に進めるために世界一の研究、世界トップレベルの研究成果を持つ宮崎大学と緊密な連携をとるべきではないか。

答 新たな未来社会に繋がる革新的な研究・技術開発へ挑戦し続ける宮崎大学と連携を深めゼロカーボンシティみやざきの実現に向け取り組んでいきます。

学校教育現場の実情と方策

問 コロナ禍で現場は疲弊し若い教職員の中には辞めたいとの声も聞く。将来を担う子どもたちをしっかりと育てるためにも若手教職員の力と成長は不可欠。コロナ禍の今こそ座談会などを催し若い教職員の思いに耳を傾けるべきではないか。

答 学校における働き方改革の取り組みを進める上でも有効な方策の一つと考えます。聴く機会を検討していきます。

任期付弁護士採用と市職員育成

問 仕事の進め方にスピード感がないため、弁護士採用等提案してきたが成果は。人材育成にもっと力を注ぐべきでは。

答 令和元年から専門職17名を採用。公務の能率的な運営が確保され豊富な経験に基づく助言や業務改善の提案など他職員の能力開発に寄与していると考えます。弁護士は今年度一名を採用予定です。



12 前新会
富永千香



生活困窮者自立支援

問 コロナ禍において生活保護受給者が増えない要因をどう捉えているのか。

答 緊急小口資金や総合支援資金等の各種貸付制度、住居確保給付金や生活困窮者自立支援金の各種給付制度等の利用により生活を繋いでいるのではと考えています。

問 今後、公的賃貸住宅の空き住戸をNPO等へ低廉な家賃で貸与し就労等を見据えた自立支援を行う仕組みの創設など衣食住を一定期間保証する一時生活支援制度に取り組みべきではないか。

答 必要性について先進地事例などをまじ調査研究していきます。

問 民間団体への情報提供など連携を密に図り、支援員のゼネラリスト化を進めて支援力上げる取り組みが必要ではないか。

答 支援員のスキルアップを図り、民間との連携を深め、相談者の生活再建に努めます。

問 公園や学校校庭の遊具を障がいのある無関係なく誰でも利用できるインクルーシブ遊具に更新していくことは可能であるか。

答 積極的に検討していきます。

問 今後の在り方が検討されるフェニックス自然動物園内に多様性への相互理解を深められるインクルーシブ公園を導入できないか。

答 大変重要な課題の一つとして認識しており施設整備について検討していきます。



13

市政同志会
図師 勝幸



F35B新田原基地への配備

問 F35B戦闘機の新田原基地への配備により、本市を含む周辺自治体への新たな対策は取られるのか。

答 住宅防音工事助成事業を、うるささ指数80Wまで拡大しますが、本市は対象区域に該当しません。

河川浄化

問 宮崎市全域と佐土原地域の公共下水道の接続率と公設合併浄化槽の普及率と整備促進の取り組みはどのように行っているのか。

答 公共下水道への接続(水洗化率)は市域全体が93.4%で、佐土原地域は88.5%となっています。合併浄化槽の普及率は86.7%になっており、利子の補給制度や普及推進員による普及促進を行っています。

コロナ対策

問 本市のワクチン接種率と早期接種のための取り組みをどのように行ったのか。

答 ワクチン接種促進のため様々な方法、媒体を利用することで対象者全体で82.8%、30歳以下も7割を超えています。
問 水際対策に有効な空港や宮崎駅で行っているPCR検査センターの実績は。

答 県内5か所で行われ、3か月で4764件で水際対策に努めています。



17

民友会
上沖 篤史



不妊治療

問 本市として不妊治療休暇を導入する考えはないか。

答 不妊治療を受けながら働いている職員が休暇を取得できるよう、本市職員につきましても休暇を取得できるよう必要な準備を進めていきます。

子育て支援対策

問 一時保育を受けられる施設について、市の窓口で随時更新した最新の情報を市民に紹介できないか。

答 市の窓口における一時預かり事業の情報提供については、各施設の最新の実施状況を市民へ紹介できるよう、今後、施設と連携を図りながら検討していきます。

障がい者雇用の現状

問 本市正職員の採用試験において「自力による通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能な人」の要件撤廃について伺いたい。

答 議員ご指摘のとおり、希望する全ての障がい者が受験できるように、令和4年度からは正職員の採用試験において自力による通勤等の要件を撤廃するよう見直しを行い、障がい者の雇用促進に努めていきます。



14

志誠会
日高 透



アリーナの将来性

問 平成30年の選挙で公約したアリーナは実現できていない。その計画を止めないのか。

答 全力で誘致に努め、ゼビオ社との協議再開を目指します。

森林施策

問 森林経営管理制度のモデル地区はどこか。この制度の市民への周知はいかに。

答 地積調査が完了した大瀬町・瓜生野地区を選定し、意向調査を進めます。市民への周知はホームページに制度の概要やパンフレットを掲載し、実施地区での地元説明会を開催します。

コミュニティ・スクール

問 学校運営協議会の委員は公募できないのか。

答 一定の基準が必要で慎重に検討した方がよいとの意見で、発足当初から公募の規定を設けませんでした。

相続登記義務化

問 将来義務化される相続登記の周知はどのように進めるのか。

答 現在の死亡者の相続人に送付している現所有者申告の案内に、相続登記の義務化に関するお知らせを記載するとともに、法務局と連携して市民への周知に努めます。



18

前新会
前本 尚登



交流センターと公民館のあり方

問 生目地区の複合施設は、コミュニティ施設として、交流センターに位置付けることになるのか。

答 利用しやすい、さらなるニーズに対応できるよう、社会教育法の適用を受けない交流センター等はコミュニティ施設として運営を考えています。

問 使用基準の緩和で、どのような活動を期待しているのか。

答 特産品の販売などが継続的に実施定着し、まちづくりが進展すると考えています。

問 指定管理者制度の導入に向け、どのような対応をしているのか。

答 地域団体と協働し、公立公民館等の事業に取り組める環境を整備してきます。

人口減少と少子化対策

問 本市の人口減少は、データから少子化の影響が大きい。地方創生の重点目標に、婚姻率、合計特殊出生率を追加すべきではないか。

答 目標値設定については、関係団体と議論していきたいと考えています。

問 少子化対策を推進する組織をつくる考えはないか。

答 少子化問題に対応する組織づくりに努めていきます。



15

公明党
太場 祥子



ゼロカーボンシティみやざき

問 公用車に走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車を導入する考えはないか。

答 現在、導入実績はありません。今後は、電気自動車の販売動向を注視しながら、充電設備の課題も整理するなど公用車への導入について検討していきます。

医療的ケア児への支援

問 保育所における医療的ケア児への支援は。

答 現在建設中の小戸保育所で、医療的ケア児の受け入れができるよう準備を進めています。

問 日常生活用具のポータブル電源の補助対象を拡充する考えはないか。

答 他の自治体も参考に、今後対応について検討していきます。

女性の健康支援

問 子宮頸がん予防ワクチンの周知啓発についてどう考えているか。

答 中学1年生から高校1年生までに個別勧奨を行います。

問 乳がん予防の自己検診のためのお風呂に張るポスターの配布についてどう検討したか。

答 市内6か所の保健センターの窓口を設置し、来客者に案内しています。



19

政友会
下村 博史



給食費の公会計

問 文部科学省推奨の公会計化を本市はどのように考えているのか。

答 本市は現在、学校ごとの献立作成や食材調達を公会計化後も維持していくためのルール作りなどの課題等を踏まえ、他市の状況を調査しながらどのような取り組みができるか検討していきます。

大塚台緑地

問 樹木伐採の管理と今後の対応は。

答 巡視による日常点検や地域住民からの連絡等により状況を把握し、現地調査を行い危険性が確認された場合は、専門業者へ委託し伐採等の対応を行っています。現在市全体の法面緑地の状況を箇所ごとにカルテを作成し、整備手法や整備順位など費用面を含め検討を行っており、地域の実情に応じた対応策を計画的に実施していきます。

猿対策

問 大塚地区や小松地区等の住宅地で猿が頻繁に目撃されているが、対応は。

答 猿を住宅地から居なくなるようにするには「追い払い活動」又は「捕獲」しがあります。市職員主体の追い払い活動を継続しながら地域住民にもご協力をいただき実施していきたいです。「捕獲」は県中部農林振興局や南警察署との合同で職員を動員して行うこととしています。



16

市政同志会
黒木 恒一郎



市長の政治姿勢

問 1月2日、本県で30人の新型コロナ感染者が発表され、知事が県内は感染急拡大の瀬戸際にあり、緊張感を持ってほしいと呼びかけていた時期、当局の保健所職員は年末年始も多忙を極め、市民も成人式の中止など、我慢を強いられている中の鹿児島旅行。この軽率な行動は、言語道断の振る舞いであり、誠に残念な思いと憤りを覚えたところである。また、市長は昨年の年末、仕事納め式において、我々議員や職員を前にして、自粛要請、ステイホームをお願いされていたにもかかわらず鹿児島旅行。このことは、決して許されるべきことではないものであり、市民や職員の信頼は失墜したのではないのか。

答 家族旅行であったとはいえ、軽率であったということ。市議会の代表者等において説明し、謝罪をしたところで。

問 市長としての自覚及び危機管理能力、義務、使命においてどのように自分を律するつもりか。

答 私としては軽率な行動、これについては深く反省していきたいと考えておりますし、信頼を失ったことに対しては、深くお詫びを申し上げたいと考えています。



20

公明党
吉田 正樹



有害鳥獣の狩猟と捕獲

問 イノシシの捕獲エリアの決定について伺いたい。

答 捕獲許可申請時に、住吉地域の捕獲班に、佐土原地域の捕獲班員を含めて申請することは可能です。

奨学金の代理返還制度

問 日本学生支援機構の返済支援制度について伺いたい。

答 就業者である社員に代わって、各企業が直接、返還金の一部または全部を機構に送金できる制度です。多くの企業がこの制度を利用することで、若者の流出の抑制や人材の還流促進のための取組になり得るのでもとして周知に努めます。

夜間中学の開設

問 宮崎市戦略推進会議へ開設を諮問したのか。

答 様々な理由で義務教育を十分に受けられなかった方に対し、再び教育を受ける機会を提供していきます。今回、夜間中学の設置について取り組むこととしました。

問 不登校生徒の夜間中学受入れについて伺いたい。

答 不登校児童生徒に対する多様な教育機会を確保する観点から、本人の希望を尊重したうえで、夜間中学において受け入れることも今後検討していきます。

12月定例会及び12月臨時会 提出議案の 議決結果一覧



12月定例会では、市長提出議案のうち補正予算の専決処分1件が承認、その他23件が可決、人事案件4件が同意され、請願2件は不採択、継続審査となりました。なお、報告の6件は終了となりました。また、委員会提出議案及び議員提出議案の条例は可決されました。12月臨時会では、市長提出議案のうち補正予算の専決処分1件が承認、補正予算1件が可決されました。

種類	番号	件名	結果
委員会提出議案	4	宮崎市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案	原案可決
	7	宮崎市動物との共生に関する条例案	原案可決
市長提出議案	173	「令和3年度宮崎市一般会計補正予算(第11号)」の専決処分について	承認
	174	令和3年度宮崎市一般会計補正予算(第12号)案	原案可決
	175	令和3年度宮崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決
	176	令和3年度宮崎市公園墓地特別会計補正予算(第1号)案	原案可決
	177	令和3年度宮崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)案	原案可決
	178	令和3年度宮崎市公設合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)案	原案可決
	179	財産の処分について	原案可決
	180	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めることについて	原案可決
	181	宮崎市葬祭センターの指定管理者の指定について	原案可決
	182	宮崎南部墓地公園の指定管理者の指定について	原案可決
	183	宮崎市清武総合福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
	184	宮崎市清武地域子育て支援センターの指定管理者の指定について	原案可決
	185	宮崎市ふるさと農産物加工センター等の指定管理者の指定について	原案可決
	186	宮崎市道の駅フェニックスの指定管理者の指定について	原案可決
	187	宮崎市清武体育館等の指定管理者の指定について	原案可決
	188	宮崎市清武総合運動公園の指定管理者の指定について	原案可決
	189	宮崎市フェニックス自然動物園等の指定管理者の指定について	原案可決
	190	宮崎市交流センター条例等の一部改正について	原案可決
	191	宮崎市手数料条例の一部改正について	原案可決
	192	宮崎市保育所条例の一部改正について	原案可決
193	宮崎市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	
194	宮崎市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	
195	宮崎市道路占用料条例の一部改正について	原案可決	
196	令和3年度宮崎市一般会計補正予算(第13号)案	原案可決	
197	宮崎市公平委員会委員の選任について	同意	
198	宮崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
199	宮崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
200	宮崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
報告	38	専決処分の報告について	終了
	39	専決処分の報告について	終了
	40	専決処分の報告について	終了
	41	専決処分の報告について	終了
	42	専決処分の報告について	終了
	43	専決処分の報告について	終了
請願	3	消費税インボイス制度の中止を求める意見書提出について	不採択※
	4	宮崎市中央公園駐車場の夜間開放を求める請願について	継続審査
臨時会 市長提出議案	201	「令和3年度宮崎市一般会計補正予算(第14号)」の専決処分について	承認※
	202	令和3年度宮崎市一般会計補正予算(第15号)案	原案可決※

表決が分かれた議案の 会派別賛否一覧

「○」は賛成、「●」は反対

上記結果に※印がついたものは、賛成・反対がどちらもあった議案です。
※鈴木一成議長(前新会)は、表決に加わりません。



令和3年12月定例会												
議案番号	会派(人数)	前新会(7)	公明党(6)	同志会(4)	政友会(4)	市政同志会(3)	志誠会(3)	社民党(3)	はまゆう(3)	民友会(3)	令政会(3)	日本共産党(1)
請願 第3号		●	●	●	●	●	●	○	●	○1 ●2	●	欠席
令和3年12月臨時会												
市長提出議案 第201号		○	○	○	○	○	○2 ●1	○	○	○	○	欠席
市長提出議案 第202号		○	○	○	○	○2 ●1	○2 ●1	○	○	○1 ●2	○	欠席

建設企業委員会

10件の議案及び1件の請願について審査を行い、議案は全て全員一致で承認又は可決、請願は全員一致で継続審査としました。なお、審査の過程で以下のような意見が出されました。

フェニックス自然動物園あり方検討事業

柔軟な視点で検討するとともに、フローランテ宮崎とフェニックス自然動物園それぞれの指定管理者の募集方法の在り方についても引き続き検討を進めるよう意見を述べました。



太陽エネルギー利用機器導入促進事業

今後は市民の平等性が確保できるよう事業の構築等について検討するよう意見を述べました。

総務財政委員会

6件の議案及び1件の請願について審査を行い、議案は全て全員一致で承認又は可決、請願は賛成少数で不採択としました。なお、審査の過程で以下のような意見が出されました。

消防車両整備事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響による生産ラインの縮小等で、車両の年度内の納入が困難であったとのこと。コロナ禍においては、今後も同様の事態が起こり得ることから、早めに生産状況等の確認を行い、計画的な事業執行に努めるとともに、物品の遅延状況等の全庁的な情報共有についても検討するよう意見を述べました。



市民経済委員会

6件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

教育旅行推進事業

事業を構築する際は、本事業による本市への経済効果についての検討を行い、事業終了後はその効果の検証を行うよう意見を述べました。



宮崎市ふるさと農産物加工センター等の指定管理者の指定について

市民が農産物加工センター等をより利用しやすくなるよう、利用者の視点に立った利用条件等の見直しを行うなど、さらに利用者が増えるような施設運営の在り方について検討するよう意見を述べました。

文教民生委員会

7件の議案について審査を行い、全て全員一致で可決しました。なお、審査の過程で以下のような意見要望が出されました。

小中学校空気調和設備整備事業

今後も音楽教室以外の特別教室の空調設備の整備及び耐用年数を迎える学校の空調設備の更新を着実に進めるため、財源確保及び計画の策定に努めるよう意見を述べました。



小戸地域子育て支援センター運営業務委託

利用者の安全確保に努めるとともに、市民に対して丁寧な説明を行い、移転後に混乱が生じないように努めるよう意見を述べました。

常任委員会の活動報告

4つの常任委員会は、本会議から付託された議案や請願などについて専門分野ごとに詳しく審査を行っています。各委員会の12月定例会の活動をまとめました。

「宮崎市動物との共生に関する条例」の主な内容

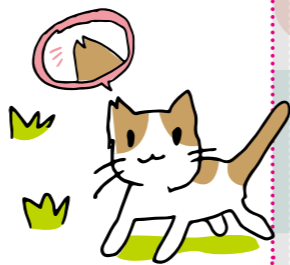
飼い主が守ること

- 動物を道路、公園、広場、その他の公共の場所に同伴する時は、あらかじめ自宅などで排せつをさせるようにしましょう。
- 動物を公共の場所に同伴する時は動物が排せつしたフンを回収し、尿を洗浄するための用具を携帯しましょう。
- 動物が自宅等以外の場所で排せつをした時は、直ちに、フンは回収し、尿は洗浄しましょう。



地域猫活動について

- 地域猫活動をする団体は、その活動をする時は地域住民に対し説明するようにしましょう。
- 地域住民は地域猫活動団体と連携しながら、地域猫活動に対する理解を深めるようにしましょう。
- 市は地域猫活動の普及啓発を図り、地域猫活動団体が行う不妊去勢手術に関する取組に対し支援を行います。



災害時のペット対応

- 市や市民は災害が発生した場合には、相互に協力し、動物の保護に努めましょう。
- 飼い主は災害時に備え、日頃から動物の避難用品、エサの備蓄をし、動物を避難させる場所の把握をしておきましょう。
- 飼い主は災害時の避難に備え、日頃から動物のしつけや健康管理などを適切に行うよう努めましょう。



多数飼育について

- 犬・猫(生後91日未満のものを除く)の飼い主は、一つの自宅等において飼養する犬・猫の合計数が10匹以上となった時は、その日から30日以内に次の事項を市長に届け出なければなりません。
- 飼い主の氏名、住所
 - 犬・猫を飼養する自宅等の所在地
 - 市長が必要と認める事項



罰則について

多数飼育の届け出を行わない人は3万円以下、下記の事項について該当する人は5万円以下の過料になります。

- フン等の回収・洗浄やエサやりの遵守事項について、市長の勧告・命令に従わない人。
- 条例の施行に必要な範囲で求められる報告・資料の提出、立入調査・エサやりに対する調査について、提出しなかったり、虚偽の報告等を行ったり、正当な理由なく拒んだりする人。



エサやりについて

飼い主のいない猫に対し、継続的にまたは反復してエサやりをする人は、その猫の繁殖を防止するために不妊去勢手術など必要な措置をした上で、適切なエサやりやフン尿の処理をするようにしましょう。



議員提案により

「宮崎市動物との共生に関する条例」が可決されました。

令和3年12月定例会で「宮崎市動物との共生に関する条例」が可決されました。現在、動物の愛護及び管理に関する法律が制定されていますが、不適正な飼養を行っている飼い主や無秩序な野良猫のエサやりにより具体的ルールや実効性のある規定がありません。そこで実効性のあるルールが必要と考え、本条例を宮崎市動物愛護促進議員連盟が提案しました。動物と共生できる社会づくりを心がけていきましょう。



条例ができるまでの動き

- 令和元年11月1日
宮崎市動物愛護促進議員連盟発足
- 令和2年1月14日
第1回動物愛護条例策定プロジェクト会議
- 令和3年12月23日
宮崎市動物との共生に関する条例公布

総会・全体会を6回、条例制定を目指したプロジェクトメンバーによるプロジェクト会議を20回開催し、関係者への事情聴取や自治会、ボランティア団体、獣医師会と意見交換会を実施し、条例案を作成。その後、パブリックコメントも実施したあと、令和3年12月定例会に議員提出議案として条例案を提出し、議決されました。

どうして「動物との共生に関する条例」ができたの？

- 犬や猫のフンの放置
- 飼い主のいない猫へのエサやりによる迷惑行為
- 飼い主が管理できなくなる多数飼育崩壊
- 災害発生時のペット避難場所の確保

などの声が市民から上がっていました。市議会では「宮崎市動物愛護促進議員連盟」を発足。プロジェクトメンバーは、なぜこのような問題が起きているのか、どういところで主に起きているのかなどを調査することから始め条例制定の準備を進めてきました。

Information

みやざき動物愛護センターを知っていますか？

みやざき動物愛護センターは、「人と動物が真に共生する地域社会づくり」を目指し、飼い主に対する適正な飼養管理や終生飼養の徹底、保護した犬や猫の譲渡の推進など、動物愛護精神の醸成を図る拠点施設として、平成29年4月に宮崎市と宮崎県合同で設置しました。

(主な業務)

- 犬の登録、狂犬病予防注射関係業務
- 犬の保護・収容・返還、負傷犬猫の保護
- 犬猫の譲渡
- 犬猫の適正飼養、終生飼養に関する相談
- 動物取扱業の登録、特定動物飼養届出
- 動物愛護教室

※犬の登録、登録事項変更、狂犬病予防注射済票交付は保健所でも行っています。

犬猫譲渡会

毎週日曜日に譲渡会を開催しています。譲渡会にはセンターで保護している犬猫のほか、動物愛護団体や一般の方の犬猫の参加もあります。

動物愛護センター
tel.85-6011
fax.85-6022



豆知識 2 条例はどのようにして作られるの？

条例がどのように作られるかは、次の3つがあります。

- ①市長が議会に提案し、議会の議決を経たうえで、市長が公布する。
- ②議会が自ら提案して制定したうえで、市長が公布する。
- ③市民の直接請求に基づき議会が制定したうえで、市長が公布する。

豆知識 1 条例ってな〜に?!

条例は地方自治体の議会の議決によって制定される「自治立法」です。憲法第94条、地方自治法第14条などに基づき地方公共団体が法令の範囲内で議会の議決により制定するものです。地方公共団体が義務を課し、または権利を制限するには、法令に特別の定めがある場合を除くほか、条例によらなければならないとされています。

市議会からのお知らせ

次の定例会は

3月定例会
2/28日～
予定

※会期日程は変更になることがあります。正式な日程が決定しましたらホームページにアップします。

議会を傍聴しませんか

市議会の本会議や常任委員会、特別委員会は自由に傍聴できます。傍聴の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用等にご協力ください。



テレビで見る

会議の様を宮崎ケーブルテレビ(地上11ch)で放送しています。



インターネットで見る

会議の様を録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。



市議会ホームページも、ぜひご活用ください!

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/parliament/>

市議会ホームページでは、議会の最新ニュースや会議録をはじめ、議会に関するさまざまな情報を発信しています。インターネットならではの便利な機能もご用意していますので、「みやざき市議会だより」と併せてご活用ください。

市議会ホームページなら…

- 会議録の検索、閲覧が可能**
平成元年以降の会議録が登録されており、「発言者」や「会議録の種類」、「日付」などで文書を絞り込むことができます。
- ホームページで本会議を中継!**
市議会ホームページで定例会や臨時会の本会議を中継しています。過去の議会の録画映像もご覧いただけます。

Facebookでも情報を発信

公式Facebookでは、一般質問の要旨や常任委員会・特別委員会の活動などをメインに情報を発信しています。

Instagramを開設

より多くの方に情報をお届けするためにInstagramを開設しました。ぜひフォローしてください。

編集後記

みやざき市議会だより第3号をご覧いただきありがとうございます。さて、12月定例会におきまして、議員提出により「宮崎市動物との共生に関する条例」が可決されました。この条例は、議員有志でプロジェクトチームを発足し、関係団体等との協議や、市民の方々との意見交換を重ね、制定に至りました。表紙については、この条例を市民の皆様にも知っていただきたいと思い、動物との共生をテーマとした写真にしています。また、11ページには、本条例の主な内容をイラストを交えてご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。本年も宮崎市議会の活動にご理解いただきますとともに、新しい1年が皆様にとりまして健康で幸多き年になりますよう、ご祈念申し上げます。

広報広聴委員会 編集委員
小牧 義隆 上田 武広 久保田早紀
黒川 正信 黒木恒一郎 日高 透